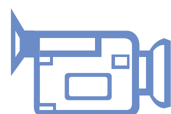
neoDVD™ standard

VIDEO IN • DVD OUT • IT'S THAT SIMPLE.™



キャプチャ

ビデオに記録した
大切な思い出を

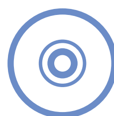


変換

ビデオファイルから
DVDやVCDファイルに







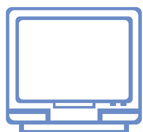
焼きこみ

DVDやVCDファイルを
CDやDVDディスクへ



みんなで楽しむ

大切な思い出を
友人や家族とともに



User Manual

Standard Edition
Version 4.0

mediastream™

MEDIOSTREM.INC(以下`MedioStream`)は、、あらゆる種類の保証なしで「現状有姿」で提供されます。その保証とは、明示と黙示とを問わず、商品性および特定目的適合性の黙示保証を含みますがこれに限定されるわけではありません。MedioStream は本ソフトウェアの使用、及びその成果の正確性、信頼性または最新性等に関して保証いたしません。本ソフトウェアの使用及びその成果における責任は全てお客様が負うものとします。司法管轄区によっては、偶発的または付随的な損害に対する除外または制限を許可していない所もあります。したがって、上記の制限および除外項目が必ずお客様に適用されるとは限りません。

いかなる場合においても、MEDIOSTREAM およびその役員、重役、従業員、代理店は、お客様や他の方に対し、偶発的、間接的、または付随的な損害(営業権の損失、業務停止、コンピュータの故障または誤作動、データの損失、利益の損失、事業の損失、機会の損失など)、またはその他の商業的な損害に対して、たとえ MedioStream がそのような損害、費用、損失、要求の可能性を示唆している場合でも、一切の責任を負いません。司法管轄区によっては、偶発的または付随的な損害に対する除外または制限を許可していない所もあります。したがって、上記の制限および除外項目が必ずお客様に適用されるとは限りません。

この文書に記載されている内容(URL やその他のインターネットアドレスを含む)は、予告なく変更される可能性があります。

MedioStream, Inc.
2107 North First Street, Suite 530, San Jose, California 95131

目次

1. はじめに

「A New World of Sight and Sound – 映像とサウンドの新世界」へようこそ。**neoDVDstandard** は、まるで音楽をカセットに録音するときのように簡単に、パソコンを使って DVD や VCD(Video CD)を作成できる、家庭用カムコーダユーザ向けに開発された画期的なソフトウェアソリューションです。**neoDVDstandard** があれば、ご家庭のパソコンがたちまちデジタル編集スタジオになり、どんなビデオクリップでも DVD や VCD 用のファイルに変換することができます。

neoDVDstandard に関する概要については、本取扱説明書の「**neoDVDstandard** の新機能」を参照してください。

1.1. 取扱説明書について

本取扱説明書は **neoDVDstandard** のヘルプファイルに基づいて作成されたものですが、構成上ヘルプファイルに多少の変更が施されています。**neoDVDstandard** を起動しているときは、ヘルプファイルをご利用になられることをお勧めします。なぜならヘルプファイルはリンクをクリックするだけで素早くお探しの情報をご覧いただけるツールだからです。

2. ヘルプの使い方

neoDVDstandard ヘルプでは、本製品を使用する上で必要なあらゆる情報を簡単にアクセスできます。Windows の HTML 形式のヘルプを採用し、知りたい情報をキーワードや検索機能で探すことができます。

neoDVDstandard の起動中にヘルプを開くときは、画面右上にある ? ボタンをクリックします。ヘルプ トピックで下線付きの語句をクリックすると、そのトピックに関連するほかの情報が表示されます。前のトピックに戻りたい場合は、「戻る」ボタンをクリックしてください。

ヘルプでは次の３つのタブが用意されています。

1. 目次

   分類された見出しでヘルプトピックを閲覧するには、このタブをクリックします。目的のトピックの内容を見たい場合は、ヘルプウィンドウ左にあるトピックタイトルもしくはトピックタイトル左にある疑問符をクリックします。
   本のアイコンがついた見出しは、その見出しに複数のサブトピックが含まれていることを表しています。それぞれの見出しに含まれているサブトピックをすべて表示させるには、"+" をクリックするか、その見出しを直接ダブルクリックします。

2. キーワード

   本ソフトウェアの使用方法において頻繁に使用されるキーワードが一覧で表示されています。検索する語句を入力すれば、その語句に一番近いキーワードに飛びます。そのキーワードをダブルクリックすると、キーワードを含むトピックが表示されます。

3. 検索

   目的の語句を入力し、その語句を含むヘルプ トピックを検索できます。この検索機能は、目次やキーワードで目的の語句が見つけられない場合に便利です。目的の語句を入力してから「検索開始」ボタンをクリックします。すると、この語句を含むトピックが全て表示されます。閲覧したいトピックをダブルクリックし、

トピックの内容を表示させます。検索した語句はハイライト表示され、識別しやすくなっています。

2.1. ヘルプトピックを印刷するには

ヘルプトピックを印刷するには、ヘルプウィンドウのツールバーにある印刷アイコンをクリックしてください。

2.2. ヘルプのアップデートについて

本ヘルプのアップデートに関する情報は、弊社のウェブサイトにアクセスください。
http://www.mediostream.com/support

3. neoDVDstandard のサポート

このマニュアルやヘルプに記載されている情報以外についてのお問い合わせは、弊社のオンラインサポート(英語)をご利用下さい。

3.1. MedioStream オンラインサポート

弊社のサポートページ http://www.mediostream.com/support には neoDVDstandard に関する最新の技術情報が掲載されています。

- トラブルに関する最新の解決法を集めたトラブルシューティング
- neoDVDstandard に関してよくある質問を集めた FAQ
- neoDVDstandard の使い方を説明するチュートリアル
- neoDVDstandard の最新のユーザマニュアルやその他のドキュメント

4. neoDVDstandard の新機能

新しい **neoDVDstandard** は以前のバージョンと比べて、新機能の追加、改定といったさまざまなアップグレードが行われています。また他社の DVD・VCD オーサリング商品と比べると、ビデオ編集に特化した全く新しいユーザ･インターフェースを採用しています。

neoDVDstandard 4.0 を使用したときに、最初に気付くのは NEO TaskBar です。NET TaskBar からは **neoDVDstandard** のキャプチャ、作成、コピーという 3 つのモジュールを起動することができます。また、オンラインショップへジャンプするボタンもあります。



4.1. neoDVDstandard 4.0 の追加機能

機能	neoDVD 2.6 / 3.0	neoDVD 4.0
DVD、VCD ファイルの作成	○	○
MPEG-1、MPEG-2、AVI ファイルの作成		○
PAL / NTSC 自動変換	○	○
DVD / VCD ビデオを CD へ出力*		○
DVD ビデオを DVD ディスクへ出力*	○	○
+VR 形式で編集可能な DVD を作成		○
背景、フレーム、オーディオ、トランジションの選択	基本機能のみ	多機能**
チャプタ自動生成設定	○	○
編集機能	基本機能のみ	多機能**
オーディオオーバーレイ機能(MP3 および WAV)	○	○
ビデオテープから DVD へのダイレクト変換*	○	○
デジタル・アナログカムコーダから DVD / VCD のダイレクト変換*	○	○
TV から DVD / VCD へのダイレクト変換*	○	
CD / DVD 出力前のプロジェクトプレビュー機能		○

* それぞれのハードウェア(例：CD-R、DVD-R ドライブなど)が必要です(本製品には付属されていません)
** 様々なメニューバックグラウンド、フレーム、レイアウト、ビデオ効果、サンプルオーディオが用意されています。

neoDVDstandard には、DVD オーサリング初心者の方のために、手順に従うだけで DVD や VCD を作成できるウィザード機能も用意されています。

5. システム必要条件

neoDVDstandard を快適にお使いいただくために、ご使用のコンピュータシステムの構成が以下の**最低必要条件を満たしている**ことをご確認ください。ご使用のシステムがこの必要条件を満たしていない場合、**正常に動作しません**。最低でも以下のシステム条件を満たすようにしてください。

- OS
  neoDVDstandard では、Windows 98 SE、Windows Me、Windows 2000、Windows XP に対応しています。対応するオペレーティングシステムの最新版サービスパックをインストールすることをお勧めします。最新版の Windows Update は、Microsoft 社のウェブサイト http://windowsupdate.microsoft.com で得ることができます。

- プロセサ(CPU)
  neoDVDstandard を正しく動作させるには、最低 700MHz のプロセサが必要です。また neoDVDstandard は Intel Celeron、Pentium III、Pentium 4、および AMD Athlon の各プロセサと互換性があります。リアルタイムに処理するのであれば、1.1GHz 以上のプロセサが必要です。

- メモリ(RAM)
  neoDVDstandard を実行するためには、最低 128MB の RAM が必要です。

- グラフィックカード
  最低 8MB 以上のビデオメモリを搭載した AGP グラフィックカードが必要です。ディスプレイの色の設定は最低 24 ビットカラー(True Color)、画面サイズは 800×600 ピクセル以上に設定してください。

- ハードディスクの空き容量
  neoDVDstandard をインストールするパーティションでは、最低 5GB の秋ディスク領域が必要です。これはテンポラリ(一時領域)として必要な量です。インストール後、任意のパーティションに変更することが可能ですが、いずれにせよ 5GB 以上の空き容量を用意してください。

- リムーバブルメディア
  neoDVDstandard では、DVD+R、DVD+RW、DVD-R、DVD-RW や、CD-R/RW

ドライブに直接出力することができます。DVD-RAM はハードディスク互換モードで使用できます。

5.1. その他の必要条件

- DV(デジタルビデオ)カムコーダおよびアナログカムコーダ
  neoDVDstandard を使ってライブ録画を行うために必要です。PAL および NTSC のいずれのビデオフォーマットもサポートしています。
- OHCI 準拠 IEEE-1394(FireWire / iLink)ポート
  DV カムと直接接続するために必要です。
- アナログキャプチャ / TV チューナカード
  アナログカムコーダやビデオデッキ、テレビ信号から直接キャプチャするために必要となります。**neoDVDstandard** に対応しているアナログキャプチャカードについての最新情報は、MedioStream のサポートセクションにてご確認ください。
  http://www.mediostream.com/support
- DirectX 8.1 以上
  最新バージョンの DirectX がインストールされていない場合は、Microsoft のサイト http://www.microsoft.com/directx/homeuser/downloads/default.asp から無償でダウンロードできます。
- Windows Media Player 7.1 以上
  Windows Media Player は、**neoDVDstandard** の一部として働きます。Windows Media Player の最新バージョンがインストールされていない場合は、Microsoft のサイト http://www.microsoft.com/windowsmedia/en/download/default.asp から無償でダウンロードできます。

6. インストール

neoDVDstandard のインストールは Windows の上から起動します。インストーラが示す手順に従って作業を行ってください。なお、以下の説明は **neoDVDstandard** のバージョンによって異なります。

6.1. neoDVDstandard のインストール

1. 最初に **neoDVDstandard** の CD をパソコンの CD-ROM ドライブに挿入します。Windows 上で CD が認識されると、自動的に **neoDVDstandard** のインストールプログラムが起動します。CD の自動再生機能がオフに設定されている場合はエクスプローラで CD のファイルを開き、**Setup プログラム**をクリックして、インストールを開始してください。

2. **使用許諾書**をお読みになり、内容に同意されてインストールを開始する場合は、「はい」をクリックします。

3. 画面の指示に従って、インストールを行います。

注: インストール CD の中には、Microsoft のコンポーネント(「その他の必要条件」参照)が含まれています。パソコンに必要なコンポーネントがインストールされていない場合は、ここからインストールされますが、コンポーネントをひとつインストールするたびにシステムの再起動が必要となります。

neoDVDstandard のユーザ登録をされることをお勧めします。ユーザ登録を行うことで、最新の製品情報、テクニカルサポートやその他の情報が入手できます。インストール時の「登録」セクションに表示されている手順に従うだけで登録することができます。また、下記のサイトでオンライン登録することもできます。

Transtechnology 登録ページ:

http://www.transtechnology.co.jp/soft/neoDVD/regform.html

MedioStream 登録ページ:

http://www.mediostream.com/products/registration_form.html

6.2. neoDVDstandard のアンインストール

neoDVDstandard をコンピュータからアンインストールするには、以下の手順に従います。

1. コンピュータで実行されているすべてのプログラムを閉じます。

2. Windows の「スタート」ボタンをクリックした後、「設定」、「コントロールパネル」を順に選択します。

3. 「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックします。

4. 「neoDVDstandard」を選択した後、「追加と削除」をクリックします。

5. 画面の指示に従います。

注: この手順では、neoDVDstandard アプリケーションファイルしか削除されず、neoDVD フォルダ内のインポートされたメディアファイル、プロジェクトファイル、作成された DVD ファイル等は削除されません。これらのファイルを削除するには、Windows エクスプローラを使用してください。

7. neoDVDstandard を起動する前に

デジタルビデオ(DV)デバイスあるいは、ビデオキャプチャカード経由のアナログビデオデバイス(カムコーダやビデオデッキ)を接続するには次の手順に従ってください。

1. キャプチャ機器とコンピュータの電源がオフになっていることを確認します。
2. デジタル機器またはアナログ機器とコンピュータとを、IEEE-1394 ケーブルまたはアナログケーブルとで接続します。
3. コンピュータを起動させ、Windows が起動するまで待ちます。
4. デジタル / アナログ機器をオンにします。ここで**数秒間待機**し、コンピュータがキャプチャ機器を検出し、その機器と通信するための適切なソフトウェアが読み込まれるのを待ちます。
5. 機器ごとの接続方法は次の節で説明します。

7.1. DV 機器を接続する

DV 機器を接続するためには、OHCI 準拠の IEEE-1394 カードが必要です。

1. パソコンの IEEE-1394 端子に IEEE-1394 DV ケーブルを接続します。
2. DV カムやデッキの DV 入出力端子にケーブルを接続します。このとき DV 機器の電源がオフにしておくことを忘れないでください。
3. DV 機器の電源をオンにします。
4. **neoDVDstandard** を起動します。

7.2. アナログ機器を接続する

ビデオカメラやデッキといったアナログ機器を使用する場合は、アナログビデオキャプチャカードが必要です。現時点で動作を確認しているキャプチャカードおよびチップは以下のとおりです。

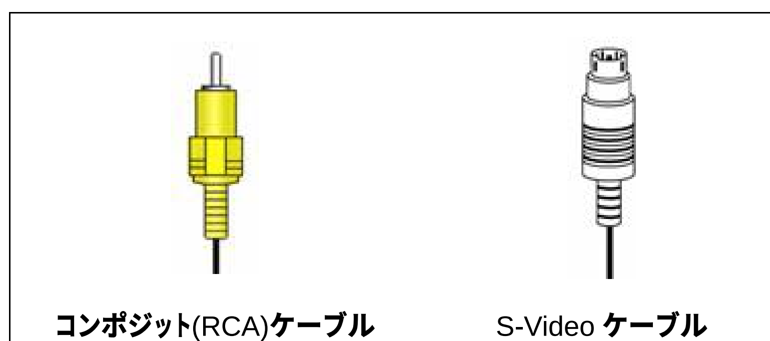
メーカ	モデル
ATI Technologies	All-In-Wonder 128 Pro
ATI Technologies	All-In-Wonder Radeon
ATI Technologies	Rage Fury Pro
AverMedia	AverTV Studio
COMpro	Personal Cinema
Conexant	Fusion 878A
Philips	SAA 7114
Philips	SAA 7134
Dazzle	DV Bridge
Dazzle	DVC 80
Hauppauge	WinTV 401
I-O DATA	GV-BCTV5/PCI
I-O DATA	GV-BGTV5/USB
Leadtek	WinFast TV 2000 XP

上記のカードは互換性テストで動作が確認されています。市場に流通しているこれ以外のキャプチャカードについても互換性テストを順次行っていきます。アナログキャプチャカードのサポート状況については、MedioStream 公式ホームページでご確認ください。

アナログ機器を接続する手順を示します。

1. アナログキャプチャカードをパソコンに接続します。

2. アナログ機器をキャプチャカードのコンポジットまたは **S-Video** ケーブルに接続します。



また、キャプチャカードに S-Video コネクタがあれば、こちらで接続することも

できます。このケーブルは別に赤・白のケーブルが必要です。S-Video ケーブルで接続した方が、黄色のコンポジットケーブルで接続するよりも画質に勝るために、広く利用されています。

3. アナログ機器の電源を入れます。

4. neoDVDstandard を起動します

7.3. カムコーダのモード設定

一般的にカムコーダには、2 種類のモードが用意されています。1 つは**カメラ**モードで、ライブ映像をテープに録画する場合に使用します。もう 1 つは**ビデオ**(VTR / VCR)モードで、録画した映像を再生する場合に使用します。

- ライブ映像をキャプチャし DVD や VCD を作成するには、カムコーダをカメラモードに設定します。

- 録画した DV テープから直接 DVD または VCD を作成するには、カムコーダをビデオモードに設定します。

neoDVDstandard は、カメラモードとビデオモードの双方に対応しています。neoDVDstandard の実行中にモードを切り替える場合は、まずカムコーダの電源を切り、**数秒待ってから**、目的のモードにします。ほとんどのカムコーダは、モード切替スイッチが電源スイッチを兼ねていて、カメラモードとビデオモードの中間位置が電源オフとなっています。モードを切り替える前に数秒間電源をオフにするようにしてください。

8. neoDVDstandard の起動

neoDVDstandard を起動するには、デスクトップの neoDVDstandard アイコンをダブルクリックするか、スタート → プログラム → MedioStream → neoDVDstandard を順に選択してください。

はじめに neoDVDstandard のウェルカム画面が表示されます。ここからキャプチャ、作成、コピーの各モジュールを起動します。ボタンの横には簡単な説明が表示されています。neoDVDstandard のモジュールを起動するには、ウェルカム画面か NEO TaskBar を使用します。「このダイアログを表示しない」をチェックすると、ウェルカム画面が表示されず、ただちに NEO TaskBar が立ち上がるようになります。

neoDVDstandard の各モジュールについて説明します。

- キャプチャ
  このモジュールでは、カムコーダやビデオデッキを使ってテープやライブビデオをパソコンに取り込み、編集可能な形式でハードディスクに保存します。保存したファイルはディスクに焼きこむ前に、サードパーティのアプリケーションを使用してビデオ編集を行うことができます。キャプチャした映像は、MPEG-1、MPEG-2、AVI 形式で保存できます。

- 作成
  このモジュールでは、ハードディスクやネットワーク上にあるビデオファイルや、TV チューナ、ライブビデオなど、さまざまなソースをインポートすることができます。このモードでは、トリミング編集や簡易 DVD オーサリングが可能です。

  neoDVDstandard のウィザードを使えば、DVD や VCD の作成を、順を追って、すばやく簡単に行うことができます。ウィザードを呼び出し方は、次のなかから選択することができます。

  - 作成モジュールを起動するたび
  - 新しいプロジェクトを開始したとき
  - ウィザードを使わない

  ウィザードの呼び出し方を変更するには、作成ウィンドウの左下にある「オプション」ボタンを押してください。

メモ： ウィザードを終了するにはキャンセルボタンを押してください。

- コピー
  作成した DVD や VCD をコピーすることができます。

注: 著作権保護された商用 DVD / VCD ビデオを複製することは違法です。ディスクコピーモードはご自身で作られたホームムービーおよびその内容を複製する目的にのみご使用になれます。

初めてお使いになる場合は、**neoDVDstandard** の機能を知るために、自由なペースで進められるチュートリアルを参照することをお勧めします。

9. キャプチャモジュール



キャプチャモジュールでは、DV(デジタルビデオ)カムコーダや、アナログカムコーダ、ビデオデッキ、TV チューナカードといったアナログキャプチャ機器から直接ビデオ映像をキャプチャして、DVD や VCD 作成用のファイルとして保存することができます。

保存できるファイル形式は AVI、MPEG-1、MPEG-2 のいずれかです。どのファイルも一般的なビデオ編集ソフトで使用することができます。必要であればここでビデオ編集を行ってください。編集が終わったファイルは **neoDVDstandard** の作成モジュールで読み込み、DVD や VCD を作成することができます。

メモ： DVD を作成する場合は AVI または MPEG-2 形式で、VCD を作成するときは MPEG-1 形式で保存することをお勧めします。

9.1. キャプチャモジュールでビデオをキャプチャする

キャプチャしたファイルは neoDVDstandard の作成モジュールで使用します。

1. ビデオソースを選択します。キャプチャしたいデジタル / アナログカムコーダ、ビデオデッキ、TV チューナ等を選択します。

   カムコーダをカメラモードにしておくと、プレビューウィンドウにライブ映像が表示されます。ビデオモードでは、テープを再生しないと映像が表示されません。DV カムコーダを接続している場合は、カムコーダコントロールボタンで巻き戻し、早送り、再生、停止などを制御することができます。

   メモ： アナログキャプチャ機器の場合は neoDVDstandard のカムコーダコントロールボタンは有効になりません。ビデオ映像のコントロールは、アナログキャプチャ機器の操作ボタンにて行ってください。

   キャプチャデバイスの電源をオンにすると、**ビデオソース**のドロップダウンメニューに自動的に表示されます。複数のキャプチャデバイスがパソコンに接続されている場合、すべてが表示されるので、そのなかからひとつを選択する必要があります。

2. 入力方式を選択します。アナログキャプチャ機器を接続している場合は、コンポジット(標準 RCA ケーブル)と、S-Video のどちらから入力するのかを選択するボタンが有効になります。**ビデオコネクタボタン**を押し、ドロップダウンリストから選択してください。

   TV チューナカードを使用している場合の手順を示します。

   a. **ビデオ入力**のリストから TV チューナを選択します。

   b. TV 設定ボタンをクリックます。**チャネルインデックス**から目的のチャネルを選択し **OK** をクリックします。チャネル名をダブルクリックすれば、名前を変更することができます。ここにまったくチャネルが表示されない場合は次の手順に従ってください。

      - 居住している国を選択します。選択した国に応じたチャネルが表示され

ます。

- TV 受信方法を、**アンテナ**または**ケーブル TV** から選択します。

- **自動チューニング**ボタンをクリックします。受信可能なすべてのチャネルを自動的にスキャンします。チューニングが終了すると、**チャネルインデックス**に、受信可能な全てのチャネルが表示されます。**チャネル名**のフィールドをダブルクリックすれば、チャネル名を変更することができます。

  オーディオソースを選択します。オーディオソースのドロップダウンメニューには利用可能なオーディオソースが表示されます。オーディオ入力系統が複数ある場合は、**オーディオコネクタ**ボタンをクリックし、目的のものを選択してください。入力ボリュームを変更するときは、**オーディオ設定**ボタンをクリックし、適切な入力レベルを設定してください。

3. ビデオ映像を保存する形式を選択します。保存できるファイル形式は AVI、MPEG-1、MPEG-2 のいずれかです。どのファイルも、ビデオ編集ソフトで編集したり、他の用途のために再保存したりすることができます。

   メモ： DVD を作成する場合は、AVI または MPEG-2 形式で、VCD を作成する場合は MPEG-1 で保存することをお勧めします。

4. キャプチャ時間を指定します。ビデオテープを使う場合など、テープのすべて、あるいは一部分をキャプチャするのかを選択します。

   一部分のみをキャプチャする場合は、**キャプチャ時間**フィールドにキャプチャしたい時間を入力します。次に **neoDVDstandard** のカムコーダコントロールボタン(DV キャプチャ機器を使用している場合)や、アナログキャプチャ機器の操作ボタンを使って目的の位置までテープを送ります。

5. キャプチャしたファイルを保存するフォーマットを指定します。neoDVDstandard では AVI、MPEG-1、MPEG-2 フォーマットでファイルを保存できます。保存したファイルは、DVD や VCD を作成する前に編集することができます。

6. ビデオを再生するときのビデオ規格を NTSC あるいは PAL のなかから選択します。ビデオ規格の選択が簡単に行えるように、国名とビデオ規格とが並べて表示されています。

   メモ： neoDVDstandard では、ダイレクト PAL / NTSC 変換という、NTSC のソースから PAL の DVD や VCD を作成する、あるいはその逆が可能です。

7. **キャプチャ**ボタンを押してファイルを作成します。プログレスインジケータでキャプチャのプロセスが確認できます(キャプチャ時間を指定した場合のみ)。

   メモ： アナログキャプチャ機器を接続している場合は、neoDVDstandard のコントロールボタンは使用できません。例えばライブ映像をキャプチャする場合は、アナログ機器の再生ボタンを押してから、neoDVDstandard のキャプチャボタンを押さなければなりません。

10. 作成モジュール

作成モジュールではハードディスク内のビデオファイルだけでなく、カムコーダやTV チューナカード、その他のキャプチャ機器からキャプチャして、DVD+VR ディスク、DVD-Video ディスクを作成することができます。



メモ： neoDVDstandard で使用できるビデオファイルのフォーマットは、デジタルビデオ(DV)、AVI、QuickTime、.ifo、.vob、MPEG-1、MPEG-2 互換ファイルです。MPEG-2 互換ファイルの詳細は、役に立つヒントを参照してください。

ビデオファイルをインポートしたら、DVD や VCD のメニュー背景やレイアウト、フレーム、トランジションなどをカスタマイズすることができます。また、階層メニュー(メインメニューの下にサブメニューがあるもの)を作成することもできます。作成したコンテンツは、ハードディスクへ保存したり、CD や DVD ディスクに直接焼きこむこともできます。

メモ： ビデオファイルをインポートすると、自動的にそのファイル名がチャプタタイトルとして適用されます。メニューというのは、DVD / VCD を再生するときの「見た目(背景、フレーム、レイアウト等)」に相当するものです。チャプタタイトルやメニュータイトルは、クリックすれば変更することができます。フォントおよび色を変更することも可能です。ただし、フォントサイズは文字数に合わせて自動的に調整されるため、任意に指定することはできません。

10.1. 作成モジュールで DVD / VCD ファイルを作る

新規プロジェクト ボタンをクリックし、新しいプロジェクトを開始します。作成したプロジェクトは再利用のために保存することができます。

作成したプロジェクトは、**保存** または**名前を付けて保存** ボタンを押すと保存できます。プロジェクトには *.dsc という拡張子がつけられます。

10.2. ビデオファイルを追加する

作成モードでは、ビデオファイルをインポートして DVD や VCD を作成することができます。ビデオファイルのインポートするには 5 通りのやりかたがあります。

パソコンのハードディスクやネットワークで保存されているビデオファイルをインポートする

- ビデオテープやライブビデオから直接インポートする
- TV チューナカードを使って TV を録画する
- DVD+VR ディスクを使う
- DVD-Video ディスク(.ifo および.vob ファイルフォーマット)を使う

10.2.1. ハードディスクにあるビデオファイルを追加する

ハードディスクドライブに保存されているビデオファイルをインポートする手順を示します。

1. **新規ファイル**ボタンをクリックします。ファイルを開くダイアログが開くので、目的のビデオファイルを探します。

2. 目的のファイルを選択し、「開く」を押すか、ファイルをダブルクリックします。

neoDVDstandard で使用できるビデオファイルのフォーマットは、DVD-Video ファイル(.ifo および.vob)、DVD+VR ディスクファイル、デジタルビデオ(DV)、AVI、QuickTime 、MPEG ファイルです。MPEG 互換ファイルの詳細は、役に立つヒントを参照してください。

10.2.2. ビデオテープやカメラから追加する

キャプチャ機器からビデオコンテンツを直接取り込むこともできます。たとえばビデオテープのビデオをチャプタとして DVD や VCD のプロジェクトに追加したいとき、それを直接 neoDVDstandard インポートできるというわけです。

ビデオテープやカメラからビデオクリップを追加する手順を示します。

1. **新規キャプチャ**ボタンをクリックします。

2. プレビューウィンドウのライブビデオキャプチャのサムネイルを選択し、編集ボタンを押すか、サムネイルをダブルクリックします。

3. 編集モードのプレビューウィンドウが開き、DV カムをコントロールするボタンが現れます。
   早送りや**巻き戻し**ボタンを使って目的の位置までテープを送ります。

メモ： アナログカムコーダやビデオを使うときは、neoDVDstandard のコントロールボタンが使えません。カムコーダやビデオの操作ボタンを使ってテープを送ってください。

4. ビデオテープやライブビデオクリップからのビデオコンテンツに、一定時間ごとにチャプタを挿入することができます。チャプタを挿入する間隔(たとえば 30 秒ごと)をパネルの右側にある**チャプタ間隔設定**の**間隔**ボックスに入力します。指定された時間ごとにチャプタポイントが自動的に挿入されます。

5. 各チャプタの再生後、次のチャプタを再生するか、メインメニューに戻るかを設定することができます。

a. パネルの右側にある**クリップ終了時**の下にある**選択**ボタンを押します。

b. クリップ終了時の動作を指定するダイアログが表示されます。**次のクリップ**を指定すると、自動的に次のクリップが再生されます。**メニューに戻る**を指定すると、クリップの再生が終わったときにメニューへ戻ります。

c. **すべてのクリップに適用**をチェックすると、プロジェクト内の全クリップに対して同じ設定を行うことができます。

メモ： これらのオプションはディスク作成前に行わなければなりません。

メモ： neoDVDstandard のバージョンによっては、クリップ終了時の設定を作成モジュールのパネル上で行います。

6. キャプチャ時間を指定したい場合は、**キャプチャ時間(合計時間)**のボックスに時間を入力します。

10.2.3. TV チューナカードから追加する

アナログ TV チューナカードからビデオクリップを追加する手順を示します。

1. **新規キャプチャ**ボタンをクリックします。

2. プレビューウィンドウに表示されている**ライブキャプチャ**のサムネイルを選択し、編集ボタンを押すか、サムネイルをダブルクリックします。

3. **ビデオコネクタ**をクリックし、**TV チューナ(TV Tuner)**を選択します。

4. **TV 設定**ボタンをクリックし、**チャネルインデックス**から目的のチャネルを選択します。

5. **OK** を押します。ここにチャネルがなにも表示されていない場合、次の手順に従ってください。

- 居住している国を選択する
  選択した国に応じたチャネルが表示されます。

- TV 受信方法を選択する
  アンテナか**ケーブル TV** かを選択します。

- **自動チューニング**ボタンをクリックする
  受信可能なすべてのチャネルを自動的にスキャンします。**自動チューニング**が終わると、**チャネルインデックス**に受信可能なチャネルが表示されます。**チャネル名**のフィールドをダブルクリックすれば、チャネル名を変更することができます。

6. ビデオ規格を選択するために NTSC / PAL ボタンを押して、選択します。

7. **オーディオコネクタ**から使用するオーディオソースを選択します。

8. TV から取り込んだコンテンツに、一定時間ごとに複数のチャプタを挿入することができます。チャプタを挿入する間隔(たとえば 30 秒ごと)をパネルの右側にある**チャプタ間隔設定**の**間隔**ボックスに入力します。指定された時間ごとにチャプタポイントが自動的に挿入されます。

9. 各チャプタの再生後、自動的に次のチャプタを再生する場合は、パネルの右側にある**クリップ終了時**の**選択**ボタンを押し、**次のクリップ**を選択します。

10. 各チャプタの再生後、DVD や VCD のメインメニューに戻る場合は、**メニューに戻る**を選択します。

11. キャプチャ時間を指定したい場合は、**キャプチャ時間**のボックスに時間を入力します。

10.2.4. 画質

neoDVDstandard はビデオの圧縮率を高、中、低の中から選ぶことができます。画質のプルダウンリストの中から選択してください。

通常 CD には約 10～15 分間の DVD ビデオを記録できます。低を選択すると、CD に約 50 分の DVD ビデオを記録できます。高では DVD の画質が増しますが、ファイルサイズが大きくなります。低ではファイルサイズを小さくできますが、画質が悪くなります。

1 枚のディスクに記録できる時間は下の表のように、画質に依存します。

	低						中						高					
オーディオ CODEC	AC3 または MP2			PCM			AC3 または MP2			PCM			AC3 または MP2			PCM		
オーディオ+ビデオ ビットレート(Kbps)	1845			3122			3382			4509			6764			8117		
	時	分	秒	時	分	秒	時	分	秒	時	分	秒	時	分	秒	時	分	秒
DVD 4.7GB 37,600,000,000 bits	5	39	39	3	20	43	3	5	17	2	18	58	1	32	38	1	17	12
MiniDVD 650MB 5,452,595,200 bits	0	49	15	0	29	6	0	26	52	0	20	9	0	13	26	0	11	11
MiniDVD 700MB 5,872,025,600 bits	0	53	2	0	31	20	0	28	56	0	21	42	0	14	28	0	12	3

注: DVD を構成するファイルおよびファイルシステムに依存した領域を考慮していない、理論値です。AC3 および MPEG-1 Audio Layer 2 (MP2)対応は将来の機能です。
メモ：neoDVDstandard のビルドによっては画質変更機能が用意されていないものもあります。

10.3. 階層メニュー(サブメニュー)の作成

neoDVDstandard では複数のメニュー(**階層メニュー**あるいはサブメニュー)を含む DVD や VCD を作成することができます。各階層は自分自身のサムネイルを含みます。メニューページは 2 階層まで作成できます。

階層メニューを使用することで、ひとつのメディアに内容別のコンテンツを複数収録することができます。たとえばひとつのメニューが休暇旅行、別のメニューは子供の卒業式の様子といったことができます。

階層メニューの作り方を示します。

1. **新規メニュー**ボタンをクリックします。

2. プレビューウィンドウのサムネイルをダブルクリックすると、新しいメニューページが開きます。

3. 必要なビデオクリップを追加します。

4. **戻る**ボタンを押すと 1 階層上のメニューに戻ります。**メイン**ボタンを押すとメインメニューに戻ります。

注: メニュー階層の全体構造や、現在作業しているメニューの位置を確認するときは**ビデオソース構造**ボタンをクリックしてください。このダイアログは必要に応じていつでも開いたり、閉じたりできます。

10.4. 編集モードを使う

必要なクリップをすべてインポートしたら、次に編集を行います。

編集モードにするには、まずビデオクリップをインポートする必要があります。ビデオクリップがインポートされると、チャプタ用のサムネイルが自動生成されます。編集を行うサムネイルを選択し、**編集**ボタンをクリックしてください。

編集モードでは次の操作が可能です。

- ビデオフレームキャプチャ(背景スナップショット)
- ビデオクリップのトリミング
- チャプタポイント挿入
- ビデオトランジション
- オーディオ追加

10.4.1. ビデオフレームキャプチャ

DVD や VCD のメニューには背景画像があります。neoDVDstandard では、あらかじめいくつかの背景画像がテンプレートとして用意されていますが、好みの画像を背景としてインポートすることができます。

ビデオファイルのフレームをキャプチャしてメニューの背景として使用する方法を示します。

1. **スナップショットボタン**を押します。現在のフレームが画像としてキャプチャされます。
2. ファイルを保存ダイアログが表示されます。ファイルを保存する場所を指定します。ファイルは.bmp として保存されます。このファイルをメニュー背景として使用することができます。

10.4.2. ビデオクリップのトリミング

neoDVDstandard にはディスクに書き込む前に、ビデオクリップをトリミング編集す

る機能があります。この手順を示します。

1. ビデオクリップをインポートします。

2. サムネイルをダブルクリックするか、選択してから**編集**ボタンをクリックします。ビデオクリップが編集モードで開きます。

3. **再生**ボタンをクリックしてビデオクリップを再生します。再生中に**マークイン**と**マークアウト**をクリックして範囲を指定します。ビデオクリップを再生せずに、**スライドバー**を使って目的の位置を指定することもできます。

10.4.3. ビデオクリップに複数のチャプタを挿入する

長いビデオクリップに、複数のチャプタポイントを挿入したい(たとえば 1 時間のクリップを 5 つのチャプタに分割したい)場合、次の手順に従ってください。

1. ビデオクリップをインポートします。

2. サムネイルをダブルクリックするか、選択してから**編集**ボタンをクリックします。ビデオクリップが編集モードで開きます。

3. インポートしたファイルの場合、**再生**ボタンをクリックしてビデオクリップを再生します。チャプタポイントを挿入したい位置にきたら、**チャプタ追加**ボタン をクリックします。クリックするたびに新しいチャプタが生成されます。チャプタポイントを削除するには、**チャプタ削除**ボタン をクリックします。

   メモ： 挿入したチャプタポイントは、**ビデオスライダ**上に表示されます。

4. ライブキャプチャの場合はチャプタ間隔設定の下の間隔ボックスに入力します。指定された時間ごとにチャプタポイントが自動的に挿入されます。

10.4.4. ビデオトランジションの追加

オリジナリティ豊な DVD や VCD を作成するための、さまざまなトランジション(エ

フェクト)をクリップに追加することができます。プロジェクトにトランジションを追加する手順を示します。

1. ビデオクリップをインポートします。

2. サムネイルをダブルクリックするか、選択してから**編集**ボタンをクリックします。ビデオクリップが編集モードで開きます。

3. パネル右側の**トランジション**の**選択**ボタンを押すと、トランジション選択ウィンドウが開きます。エフェクトインおよびエフェクトアウトを選択します。

4. トランジションカラーの初期値は黒となっています。**カラー**のドロップダウンリストから望みの色を選択してください。

5. **すべてのビデオクリップに適用**をチェックすると、指定したトランジションエフェクトがプロジェクト内のすべてのビデオクリップに適用されます。

10.4.5. オーディオオーバレイ

neoDVDstandard ではビデオクリップにオーディオを追加し､質の高い DVD や VCD を作成できます。**neoDVDstandard** にはミュージックから効果音までさまざまなオーディオクリップが用意されています。ビデオクリップにオーディオを追加する手順を示します。

メモ： オーディオオーバレイを適用しても、ソースビデオの音声を置き換えるわけではありません。オーディオオーバレイはソースビデオ / オーディオの上にレイヤを追加するものです。

1. オーディオファイルを選択する手順を示します。

2. ビデオクリップをインポートします。

3. サムネイルをダブルクリックするか、選択してから**編集**ボタンをクリックします。ビデオクリップが編集モードで開きます。

4. 右側のパネルから、**オーディオオーバレイ**の**選択**ボタンを押します。オーディオ

選択ダイアログが開きます。

5. neoDVDstandard に用意されたオーディオを選択します。**追加**および**削除**ボタンを押せば、オーディオファイルを追加、あるいは削除することができます。neoDVDstandard は WVA と MP3 オーディオをサポートしています。オーディオを聞くには、ドロップダウンリストからファイルを選択した上で、**再生**ボタンを押します。

   メモ： neoDVDstandard では、デフォルトでビデオクリップの先頭からオーディオトラックが追加されます。クリップの途中または終わりにオーディオを挿入したい場合は、挿入したい時点まで無音にしたオーディオファイルを作ります。たとえば長さ 10 分のビデオクリップの 5 分目に入ったところからオーディオを挿入したいという場合､最初の 5 分間を無音にしたファイルを作成してください。

10.4.6. DVD レコーダブルディスクで+VR 機能を使用する

+VR や+RW VR とも呼ばれている DVD +RW Video フォーマットは､SONY､Philips､リコー、Dell、ヤマハ、HP の各社で制定された、編集可能な DVD ビデオフォーマットです｡+VR フォーマットで作成されたディスクは､後から変更することができます｡

次のような編集ができます。

- メニュータイトルの文字を編集する
- メニューの背景を変更する
- ビデオクリップを追加、削除する

つまり､+VR フォーマットディスクはビデオテープと同じように使用することができるわけです｡そのうえで､+VR フォーマットは､DVD-Video フォーマット(商用 DVD で使われているフォーマット)と同じ特性を持っているため、DVD プレーヤーとの完全な互換性があります。

+VR フォーマットは業界標準規格であり、+VR フォーマットであればサードパーティ製の DVD オーサリングソフトウェアや DVD レコーダで作成したものでも編集することができます。

メモ：+VR の機能を利用するためには、DVD+RW ドライブとメディアが必要となり

ます。

10.4.6.1. DVD+VR ディスクを作成する

+VR ディスクの作成方法を示します。

1. プレビューウィンドウの下部にある**新規ファイル**ボタンを押します。ファイルを開くウィンドウが開きます。

2. 目的のファイルを選択し、**開く**を押すか、ファイルをダブルクリックします。

3. 必要であればビデオファイルを編集します。**neoDVDstandard** の編集機能については「編集モードを使う」を参照してください。

4. **ディスク作成**ボタンを押すとディスク書き込みオプションが開きます。

5. **ディスクフォーマット**で **DVD+VR** を選びます。

6. その他必要なオプションを選択します。**OK** を押すと、DVD+VR ディスクが出力されます。

10.4.6.2. 既存の DVD+VR ディスクを編集する

既存の DVD+VR ディスクを編集する方法を示します。

1. 既存の DVD+VR ディスクを DVD レコーダブルディスクに挿入します。

2. ディスクを開くボタンを押します。

3. DVD+VR ディスクのある場所を探します。DVD+VR を開くボタンを押します。DVD+VR ディスクが読み込まれ、メニューとコンテンツ(DVD プレーヤーで再生したときに開くもの)が表示されます。

4. ビデオファイルを追加または削除、メニューの背景、フレーム、ビデオのトリミングなどを行います。

5. 編集作業が終わったら、ディスク作成ボタンを押します。編集結果が DVD+VR

ディスクに出力されます。

メモ： 既存の DVD+VR ディスクを編集する際は、変更のあった部分だけが処理されます。変更のない部分に再書き込みや再エンコードが行われることはありません。このため既存の DVD+VR ディスクの編集作業はすばやく、簡単に実行されるわけです。

10.5. サムネイル画像の設定

デフォルトでは、ビデオクリップ内の最初の空白でない画像が、チャプタのサムネイルとして使用されます。しかし、ビデオクリップ内の任意のフレームをサムネイルとして使用することができます。その手順を示します。

1. ビデオクリップを追加します。
2. 目的のサムネイルを右クリックします。
3. ポップアップメニューから**サムネイル設定**を選択します。サムネイルの下に**ビデオスライダ** が現れます。
4. **ビデオスライダ**を使って目的のシーンを選びます。
5. フレームをサムネイルに使用するかという確認ダイアログが表示されます。**はい**を押してください。

10.6. DVD / VCD プロジェクトのカスタマイズ

インポートしたビデオクリップの編集が終わったら、**メイン** ボタンをクリックして、メインメニューへ戻ってください。このメインメニューページで、背景、フレーム、レイアウトといった DVD / VCD の見た目をカスタマイズすることができます。+VR の機能を使うと、作成済みの DVD ディスクでも変更することができます。DVD+VR ディスクの編集についての詳細は、「DVD レコーダブルディスクで+VR 機能を使用する」を参照してください。

メモ： 階層メニューを作ったときは、それぞれのメニューページに対して編集することができます。

10.6.1. 背景を選択する

背景とは、DVD や VCD のメニューに表示される画像のことです。作成する DVD / VCD にもっとも適した背景を選択しましょう。

neoDVDstandard には、あらかじめいくつかの背景がテンプレートとして用意されています。テンプレートの使い方を示します。

1. パネル右側の**メニュー背景**の**修正**ボタンを押します。背景選択ウィンドウが開きます。

2. 好みの背景を選択します。選択した背景でプレビューウィンドウに表示されます。

お好きな画像を背景としてインポートすることもできます。インポートした画像はウィンドウに合うように自動的にリサイズされるので、サイズを気にする必要はありません。

背景のインポート方法を示します。

1. パネル右側の**メニュー背景**の**修正**ボタンを押します。背景選択ウィンドウが開きます。

2. **追加**または**削除**ボタンを押してください。

メモ： 背景として使用できるのは BMP(.bmp)と JPEG(.jpg)のみです。

10.6.2. チャプタフレームを選択する

チャプタフレームとは、サムネイルの画像の周囲を飾る枠のことです。写真にたとえると、写真たてのようなものです。作成する DVD / VCD のサムネイルとして適したフレームを選択しましょう。

neoDVDstandard にはいくつかのフレームがテンプレートとして用意されています。これらを使うには、**フレーム**のタブから、気に入ったフレームを選んでください。

テンプレートの使用方法を示します。

1. パネル右側のフレームの修正ボタンを押します。選択ウィンドウが開きます。

2. 好みのフレームデザインを選択してください。

10.6.3. サムネイルのレイアウトを指定する

サムネイルのレイアウトとは、DVD / VCD のメニューに表示されるサムネイルの並び方のことです。

レイアウトとして 4 種類の並び方が用意されています。レイアウトの選択方法を示します。

1. パネル右側のメニューレイアウトの修正ボタンを押します。メニューレイアウトの選択ウィンドウが開きます。

2. 好みのレイアウトを選択してください。

10.7. プロジェクトのプレビュー

プロジェクトの編集が終わったら、プレビューボタンを押してプロジェクトの動作を確認することができます。

プレビュー機能を使えば、ディスクに焼きこむ前に DVD / VCD の動作をシミュレートすることができます。この機能は、実際にメディアに書き込む前に内容を確認したいときに便利です。

コンテンツを操作するには、画面下にあるナビゲーションコントロールを使います。

プレビューが終わったら、編集ボタンを押して再度編集に戻るか、ディスク作成ボタンを押してください。

10.8. ディスクへの書き込み

DVD / VCD プロジェクトの編集が終われば、いよいよディスクへの書き込みです。

1. ディスク作成ボタンをクリックします。ダイアログボックスが開きます。

2. 出力するビデオ形式を選択します。**ディスクフォーマット**のドロップダウンメニューで DVD+VR、DVD-Video、VCD の中から選択します。

メモ： 出力形式は作成モードでも選択することができます。こちらではディスクの推定サイズを見ることができます。

メモ： DVD+VR フォーマットを使用すれば、ディスクを出力した後からでもディスクの内容を変更することができます。+VR フォーマットを使用すれば、ビデオテープと同じような使い方ができるのです。

3. DVD / VCD を再生するときのビデオ規格(PAL または NTSC)を選択します。**表示フォーマット**のドロップダウンメニューから、作成したディスクを再生するときの国を選択します。選択した国にあわせたビデオ規格が設定されます。**neoDVDstandard** では NTSC のソースから PAL の DVD / VCD を作る、あるいはその逆を行うことができます(PAL/NTSC 直接変換機能)。

4. DVD / VCD を出力するドライブを指定します。**出力先**ドロップダウンメニューから、出力するドライブ(CD-R/RW、レコーダブル DVD ドライブ、ハードディスク)を選択します。

   メモ： ハードディスクに DVD ファイルを出力するときは、DVD プロジェクトごとに新しいフォルダを作成する必要があります。出力先フォルダのデフォルト名は VIDEO_TS です。つまり、プロジェクトごとに新しいフォルダを用意しないと、以前のものが上書きされてしまうことになります。出力先フォルダで DVD を出力するフォルダを指定してください。

5. レコーダブルドライブに出力するときは、好みの名前を付けることができます。**ディスクラベル**に入力してください。

6. CD、レコーダブルドライブの書き込み速度を指定します。デフォルトの書き込み速度は、ドライブの最高速となっています。メディアの書き込み速度がドライブの書き込み速度よりも遅い場合は、**書き込み速度**のドロップダウンメニューを遅くしてください。

7. **コピー枚数**を指定します。ディスクを複数作りたいときは、上向き矢印を押すとコピー枚数が増え、下向き矢印を押すとコピー枚数が減ります。

8. **OK** をクリックしてディスク作成を開始します。中止ボタンをクリックするか、最後まで処理が進み自動停止するのを待ちます。ディスクへの書き込みが完了すると、「ディスクは正常に作成されました」というメッセージが表示されます。

11. コピーモードで DVD / VCD のコピーを作る



注: 著作権保護された商用 DVD / VCD ビデオを複製することは違法です。ディスクコピーモードはご自身で作られたホームムービーおよびその内容を複製する目的にのみご使用になれます。

1. NEO TaskBar のコピーアイコンをクリックします。コピーモジュールが起動します。

2. コピー元ドロップダウンメニューをクリックし、コピーするビデオコンテンツが保存されているドライブを選択します。CD-R / RW、レコーダブル DVD ドライブ、ハードディスクドライブなどを使用できます。

3. 出力先ドロップダウンメニューに書き込み先を指定します。

4. コピーしたい枚数を**コピー**フィールドに入力します。上下の矢印ボタンを使用することもできます。

5. **書き込み速度**のドロップダウンメニューで書き込み速度を設定します。デフォルトの書き込み速度は、ドライブの最高速となっています。メディアの書き込み速度がドライブの書き込み速度よりも遅い場合は、遅い速度を指定してください。

6. **ディスクラベル**には好きな名前を指定することができます。DVD-Video で使用できる文字種は英大文字と数字および'_'のみです(ISO 9660 d キャラクタセット)。

7. **コピー**ボタンを押して、コピーを開始します。

11.1. DVD ファイルやディスクのコピー

DVD ファイルは常に VIDEO_TS という名前のフォルダに保存されています。DVD ファイルをコピーするには、VIDEO_TS より上の階層のフォルダを指定する必要があります。

たとえば、最近休暇中に録画した DVD ファイルが C:¥DVD¥Fishing Trip というフォルダに保存してある場合、それをコピーするには C:¥DVD¥Fishing Trip¥VIDEO_TS ではなく、C:¥DVD¥Fishing Trip を指定します。

別の DVD ディスクをコピーする場合は、コピー元のディスクを DVD-ROM ドライブに挿入し、ブランクメディアをレコーダブルドライブへ入れてください。コピー元のドロップダウンメニューでディスクのある場所(たとえば D:¥)を指定します。

11.2. VCD ファイルやディスクのコピー

VCD ファイルは、CDI、EXT、MPEGAV、SEGMENT、VCD という 5 つの異なるフォルダに分かれて保存されています。VCD ファイルをコピーするには、これら 5 つのフォルダより上の階層のフォルダを指定する必要があります。

たとえば、最近休暇中に録画した VCD ビデオファイルが C:¥VCD¥Fishing Trip というフォルダに保存してある場合、他のフォルダではなく、C:¥VCD¥Fishing Trip を指定します。

他の VCD ディスクをコピーする場合は、コピー元のディスクを CD-ROM または DVD-ROM ドライブに挿入し、ブランクメディアをレコーダブルドライブに入れてください。

12. オプション設定

neoDVDstandard にはさまざまなオプション設定が用意されています。オプション設定を行うには、プレビューウィンドウの下部にある**オプション**ボタンをクリックします。

オプション設定のウィンドウが表示されます。

1. テンポラリファイル： neoDVDstandard が一時的に使用するディスク領域を指定します。空き容量が十分あるドライブをテンポラリとして指定すれば、テンポラリが少ないときに比べて、作成できる DVD / VCD の長さが長くなります。

2. ウィザード： neoDVDstandard の起動時、および新規プロジェクトを開始時に、ウィザードを開くかどうかをここで設定します。ウィザードは neoDVDstandard を使い慣れていない方にとって大変役立つツールです。DVD や VCD の作成を、手順を追って行うことができます。

3. ディスクオプション： ビデオコンテンツをディスクに出力する際の方法を指定することができます。いずれのオプションもディスク出力の効率を高めます。

   - Direct-to-Disc Recording ™ (ダイレクト・トゥ・ディスク レコーディング)：この機能はディスクに書き込む前に一時的にハードディスクにイメージを作成する処理を省き、ディスクへダイレクトに書き込むことで、まさしくワンステップでディスクを作成するものです。この機能によってハードディスクの必要量を減らし、従来よりも DVD 作成の敷居を低くしています。Direct-to-Disc Recording 機能は市販されているすべての DVD+R および DVD+RW ドライブで使用できます。

   - Quick Eject ™： 従来、DVD ディスクの作成には、どんなにビデオコンテンツの長さが短くても、約 15 分のファイナライズ処理が必要でした。クイックイジェクト機能を使うと、短い DVD を作成する際の時間を劇的に減らすことができます。この機能は市販されているすべての DVD+R および DVD+RW ドライブで使用できます。

   - Direct-to-Disc Copying ™ (ダイレクト・トゥ・ディスク コピー)： コピーモードで、ディスクからディスクへのコピーをワンステップで行う機能です。

Direct-to-Disc Copying 機能はハードディスクの必要量を減らすだけでなく、オン・ザ・フライでコピーできるためにコピー速度を高速化します。

4. ビデオ： 各チャプタにサブタイトルをつけることができます。neoDVDstandard で作成した DVD や VCD を再生したときに、ビデオクリップのタイトルが 5 秒間だけ表示されます。

メモ： この他、市販されているすべての DVD-R、DVD-RW、DVD+R、DVD+RW で働く Smart Buffering ™ (スマートバッファリング) 機能もあります。この機能を使えば、DV から DVD へのリアルタイム変換が間に合わず、複数のバッファを作ってしまうことから生じるハードディスクの必要量を減らすことができます。
従来はリアルタイム処理速度に満たない場合、現在の処理が終わるまで、入力したビデオデータはハードディスク内のバッファに格納されたままになっていました。
neoDVDstandard の Smart Buffering 機能は、ハードディスクにバッファを作る代わりにカムコーダを停止させてしまいます。カムコーダをコントロールすることにより、DVD+RW ドライブを使用したときには DV から DVD への変換に、たった 400MB しかハードディスクを必要としません。

13. DVD、VCD、miniDVD の再生

ハードディスクに作成した DVD ファイルを再生するためには、DVD 再生ソフトウェアが必須です。

パソコンに DVD 再生ソフトがインストールされていれば、ディスクが自動的に検出され、再生が開始されます。DVD 再生ソフトがインストールされていない場合は、別途お買い求めください。

作成した DVD / VCD はホーム DVD プレーヤー(セットトップボックス)で再生することもできます。ただし、ご使用のプレーヤーがそのメディアに対応しているかどうかあらかじめご確認ください。プレーヤーがそのメディアに対応しているか否かは、プレーヤーのメーカにお問い合わせください。

neoDVDstandard では DVD ビデオコンテンツを CD に焼くこともできます。この形式のディスクは miniDVD と呼ばれ、1 枚の CD に DVD 画質のビデオを約 10 分から 15 分収録することができます。

メモ： miniDVD はパソコンでの再生しかできません。ほとんどの DVD プレーヤーはこの形式のメディアに対応していません。

メディアの再生互換性を示します。

メディアの種類	再生可能
CD-R/RW ディスクに記録された DVD ビデオ	DVD-ROM ドライブ、CD-R/RW ドライブ
DVD-R/RW ディスクに記録された DVD ビデオ	DVD-ROM ドライブ、DVD-R/RW 対応 DVD プレーヤー
DVD+R/RW ディスクに記録された DVD ビデオ	DVD-ROM ドライブ、DVD+R/RW 対応 DVD プレーヤー
DVD-RAM ディスクに記録された DVD ビデオ	DVD-RAM ドライブ
CD-R/RW に記録された VCD	DVD-ROM ドライブ、CD-R/RW ドライブ、VCD 対応プレーヤー

13.1. ハードディスク内の DVD ファイル

IFO ファイルを再生できるソフトウェアプレーヤーでは、ファイルモードで VIDEO_TS フォルダにある、VIDEO_TS.IFO ファイルを再生してください。

IFO ファイルを再生できないソフトウェアプレーヤーでは、次の手順に従ってください。

はじめに再生したい VIDEO_TS フォルダをドライブのルート、たとえば C:¥にコピーします。次に DVD 再生ソフトの「プロパティ」や「設定」を開き、デフォルト DVD ドライブを「C:」に変更します。OK を押せば、DVD を再生できるようになります。

その後 DVD ドライブから再生したくなったら、「プロパティ」や「設定」を初期状態に戻してください。

14. コンピュータシステムの最適化

以下は、neoDVDstandard を最大限に利用するためのヒントです。

- ハードディスクのデフラグ
  長時間録画する前に、ハードディスクをデフラグすることをお勧めします。デフラグしたハードディスクは読み書き時のディスクへのアクセス頻度が減り、その結果エンコード速度が向上します。ハードディスクのデフラグには、Windows の**ディスクデフラグ**をお使いください。
  ディスクデフラグを起動するには、スタート → プログラム → アクセサリ → システムツール → ディスクデフラグ と操作してください。

- ハードディスクの DMA 転送モードの有効化(必須)
  ほとんどのハードディスクは DMA(ダイレクトメモリアクセス)転送をサポートしています。この機能を有効にすると、ハードディスクをアクセスする際のオーバヘッドが減少し、高速化します。**DMA が有効になっていること**を確認してください。

  DMA が有効になっているかを確認するには、OS ごとに次の手順に従ってください。

  - Windows 98 SE と Windows Me の場合

  1. **スタート** → **設定** → **コントロールパネル**を選択します。
  2. **システム**をダブルクリックします。
  3. デバイスマネージャのタブを開き、**ディスクドライブ**のアイコンをダブルクリックします。
  4. たとえば「GENERIC IDE DISK TYPE01」という具合に表示されたエントリを右クリックします。
  5. プロパティを選択し、設定タブを開きます。
  6. DMA のチェックボックスをチェックします。

  - Windows 2000 の場合

  1. **スタート** → **設定** → **コントロールパネル**を選択します。
  2. **システム**をダブルクリックします。
  3. ハードウェアタブを開き、デバイスマネージャを選択します。
  4. **IDE ATA/ATAPI コントローラ**をダブルクリックします。

5. ドライブが接続されているチャネル(たとえばプライマリ IDE チャネル)を右クリックして**プロパティ**を開きます。
6. **詳細設定**タブを開き、転送モードのドロップダウンメニューで **DMA** を選択します。

➢ Windows XP の場合

1. **スタート** → **コントロールパネル** → **パフォーマンスとメンテナンス**を選択します。.
2. **システム**をダブルクリックします。
3. **ハードウェア**タブを開き、**デバイスマネージャ**を選択します。
4. **IDE ATA/ATAPI コントローラ**をダブルクリックします。
5. ドライブが接続されているチャネル(たとえばプライマリ IDE チャネル)を右クリックして**プロパティ**を開きます。
6. 詳細設定タブを開き、転送モードのドロップダウンメニューで **DMA** を選択します。

- 使っていないアプリケーションを閉じる

  実行中のアプリケーションは、メモリや CPU パワーを消費しています。**neoDVDstandard** を起動する前にこれらを閉じてください。

  タスクトレイに常駐しているアプリケーションを閉じて処理能力を確保することができます。ボリュームコントロールのように CPU パワーを消費しないものは残しておいてもかまいません。それ以外はバックグラウンドで常に実行されている可能性があり、CPU パワーやメモリを浪費しています。

- 電源に関する問題

  neoDVDstandard で長時間の録画を行う前に、パソコンの自動電源スタンバイ機能を無効にしておいてください。

  自動電源スタンバイ機能を無効にする方法を示します。これは OS に依存します。

➢ Windows 98 SE の場合

1. **スタート** → **設定** → **コントロールパネル**を選択します。
2. **電源の管理**をダブルクリックします。
3. **電源設定**タブでシステムスタンバイのエントリを「**なし**」にします。

- Windows Me と Windows 2000 の場合
  1. **スタート** → **設定** → **コントロールパネル**を選択します。
  2. **電源オプション**をダブルクリックします。
  3. **電源設定**タブでシステムスタンバイのエントリを「**なし**」にします。

- Windows XP の場合
  1. **スタート** → **コントロールパネル** → **パフォーマンスとメンテナンス**を選択します。

  2. **電源オプション**をダブルクリックします。

  3. **電源設定**のタブでシステムスタンバイのエントリを「**なし**」にします。

メモ： ラップトップをお使いの場合は、AC アダプタを使用してください。バッテリーを使っているときには、節電モードになるために全体のパフォーマンスが低下するからです。

15. コンピュータをアップグレードするとき

コンピュータのアップグレードを考慮している場合は、以下のコンポーネント仕様に特に注意してください。

- ハードディスクドライブ
  ATA100、UDMA100、またはそれ以上の、できるだけシークタイムが小さく、データ転送率が速いハードディスクを選択してください。

- CPU
  マザーボードが対応している限り、高速の CPU クロック(700MHz 以上)を持った AMD Athlon や、Intel の Pentium III、Pentium 4 を選んでください。リアルタイムなパフォーマンスを得るには､最低でも 1.1GHz のシステムが必要です。

- YUV 4:2:2 レンダリング機能を持った４X AGP グラフィックカード
  グラフィックカードを選ぶときには､ハードウェア YUV 4:2:2 レンダリング機能を持っていることを確認してください。

- マザーボード
  PC133 メモリや UDMA100(またはそれ以上)のハードディスクといった高速な機器の性能を発揮できるように、高速なバスを持ったマザーボードを選択してください。

16. ハードウェアの互換性

- アナログ・デジタルカムコーダ、ビデオデッキ
  neoDVDstandard では、Mini-DV、DV8、DV カム、DVC Pro、NTSC や PAL の VHS カムコーダやテープデッキに対応しています。

- IEEE-1394 カード(FireWire, iLink)
  OHCI 準拠の IEEE1394 カードであればすべて対応しています。当社では、ADS、Advansys、NEC、SIIG、Soyo、Texas Instrument、Western Digital のチップないしボードでの動作を確認しています。

- アナログキャプチャ / TV チューナカード
  アナログ機器(VHS カムコーダやテープデッキなど)をご使用の場合は、アナログビデオキャプチャカードが必要です。neoDVDstandard で動作を確認しているアナログキャプチャカードは次の通りです。

  - ✧ ATI All-In-Wonder 128 Pro
  - ✧ ATI Rage Fury Pro
  - ✧ ATI All-In-Wonder Radeon
  - ✧ AverMedia AverTV Studio
  - ✧ COMpro Personal Cinema
  - ✧ Hauppauge WinTV 401
  - ✧ Conexant Fusion 878A
  - ✧ Dazzle DV Bridge
  - ✧ Dazzle DVC 80

上記以外のアナログキャプチャカードの対応状況は、MedioStream のウェブサイトのサポートセクションをご覧ください。

17. トラブルシューティング

neoDVDstandard を誰もが使いこなし、活用していただけることを目標にしてこのマニュアルを作成しました。この章は次のとおりに 3 つのパートに分かれています。

- ハードウェアおよびソフトウェアのチェックリスト
  問題点をすばやく、的確に探し出すことができます。

- FAQ
  よくある質問をまとめました。

- 役に立つヒント
  neoDVDstandard のユーザに役に立つ情報です。

17.1. ハードウェアおよびソフトウェアのチェックリスト

neoDVDstandard を使用する際にシステムが要求仕様を満たしているかを、以下のチェックリストで確認してください。

☐ _____ CPU 速度 700MHz 以上の Pentium III、Pentium ４、AMD Athlon 等

☐ _____ DirectX 8.1 以上

☐ _____ 自動電源スタンバイ機構をオフ

☐ _____ 128MB 以上のメインメモリ

☐ _____ OHCI 準拠の IEEE-1394 カード

☐ _____ アナログキャプチャカードは neoDVDstandard で対応しているか

☐ _____ OS に最新のアップグレードが施されているか

☐ _____ 8MB 以上のビデオメモリを搭載した AGP グラフィックカード

☐ _____ ハードディスクにはテンポラリ用に 5GB 以上の空き容量があるか

☐ _____ サウンドカードが正しく動作しているか

☐ _____ ディスプレイの色数はトゥルーカラー(24 ビット)以上か

☐ _____ カムコーダには十分なバッテリーがあるか、AC 電源か

☐ _____ 1394 ケーブルが折れたりねじれたりせずに正しくつながっているか(ケーブルが損傷しているときには交換すること)

☐ _____neoDVDstandard を起動する前に、不必要なアプリケーションをすべて終了させること(これによりシステムのリソースが開放される)

☐ _____ MPEG-2 互換のファイルになっているか

一般	プログラムストリーム
ビデオ	フレームピクチャ
	ボトムフィールドが先
	29.97 フレーム/秒 (NTSC)
	25 フレーム/秒 (PAL)
	最大ビットレート　7.0Mbps
	平均ビットレート　5Mbps
オーディオ	PCM オーディオ
	16 ビット
	サンプリングレート　48Khz
	ステレオ　2ch

17.2. FAQ

- **パソコンに組み込まれている DirectX のバージョンを知るにはどうすればいいのですか？**
  neoDVDstandard を正しく動作させるためには、DirectX 8.1 以上が必要です。パソコンにインストールされている DirectX のバージョンは、DirectX 診断ツールで確認することができます。

  スタート → プログラム → アクセサリ → システムツール → システム情報 → ツール → DirectX 診断ツール の順に操作してください。

  DirectX 診断ツールを使うと、すべての DirectX ファイルとそのバージョンが表示されます。またこのツールでオーディオやビデオのテストも行えます。DirectX 診断ツールは古いバージョンの DirectX には付属していません。この場合は無条件で DirectX を最新版にする必要があります。

- **DirectX はどのようにインストールすればいいのですか？**
  DirectX 8.1 以上がインストールされていない場合は、最新バージョンの DirectX を http://www.microsoft.com/directx/homeuser/downloads/default.asp からダウンロードしてください。

  使用している OS(Windows 98 SE、Windows Me、Windows 2000)および言語に合った DirectX 8.1 を選択し、画面の指示に従ってください。

  メモ： Windows XP にはすでに DirectX8.1 がインストールされています。

- **キャプチャ機器が正しく接続されていることを確認するにはどうすればいいのですか？**
  次の手順に従ってください。

  - Windows 98 SE および Windows Me の場合
    スタート → 設定 → コントロールパネル → システム → デバイスマネージャ
  - Windows 2000 の場合
    スタート → 設定 → コントロールパネル → システム → ハードウェア → デバイスマネージャ
  - Windows XP の場合
    スタート → コントロールパネル → パフォーマンスとメンテナンス → システム → ハードウェア → デバイスマネージャ

キャプチャ機器を検出していれば、イメージングデバイスのエントリに表示されるはずです。

メモ： カムコーダをカメラモードまたはビデオモードにしてから認識されるまでに数秒かかります。

- **パソコンの色数はどのようにして変更すればいいのですか？**
  neoDVDstandard を正しく動作させるためには True Color(24 ビット)以上の色数が必要です。

- Windows 98 SE、Windows Me、Windows 2000 の場合
  スタート → 設定 → コントロールパネル → 画面 → 設定 → 画面の色
- Windows XP の場合
  スタート → コントロールパネル → デスクトップの表示とテーマ → 設定 → 画面の色

- **グラフィックカードの種類とメモリはどうやって知ればいいのですか？**
  DirectX 診断ツールを実行します。ディスプレイタブを開くと、グラフィックカードの種類と搭載メモリ量を確認することができます。

- **Windows のバージョンを確認するにはどうしたらいいのですか？**
  neoDVDstandard は Windows 98 SE、Windows Me、Windows 2000、Windows XP に対応しています。

  - Windows 98 SE、Windows Me、Windows 2000 の場合
    デスクトップのマイコンピュータアイコンを右クリックし、プロパティを選択します。最初に表示される全般タブのシステムの部分に OS のバージョンが表示されています。
  - Windows XP の場合
    スタート → コントロールパネル → パフォーマンスとメンテナンス → システムを選択し、全般タブのシステムの部分に OS のバージョンが表示されています。

- **neoDVDstandard のバージョンはどうしたら確認できますか？**
  neoDVDstandard アプリケーションを起動します。右上の「？」をクリックし、「バージョン情報」を選択します。ウィンドウが開き、**neoDVDstandard** のバージョンが表示されます。

18. 役に立つヒント

- 接続されているカムコーダをパソコンが認識しない場合は、正しく接続されているかどうか確認してください。
- OHCI準拠のIEEE1394カードが正しくパソコンに接続されているか確認してください。
- カムコーダにダメージを与えないためにも、パソコンに接続したり外す時は、カムコーダの電源をオフにしてください。
- **neoDVDstandard** が起動している時は、カムコーダのモード(カメラモードとビデオモード)の切り替えを行わないでください。**neoDVDstandard** を終了して、カムコーダを数秒間オフにしてからモードを切り替え、その後 **neoDVDstandard** を起動するようにしてください。
- ビデオコントロールボタンを連続してクリックしないでください。これを行うとテープが損傷する恐れがあります。早送りや巻き戻しなどは、テープが動き始めたり止まるまでに時間がかかります。反応速度の良し悪しはカムコーダのモデルやパソコンの OS に依存します。
- 長いビデオクリップをキャプチャするときは、事前にハードディスクをデフラグしてください。コンピュータを再起動するだけでパフォーマンスが向上する場合もあります。

(* end of text *)